

令和6年度 指定管理業務 事業評価表

1. 評価対象施設

公の施設の名称	四国中央市市民文化ホール
施設所管課	政策部 管理課
指定管理者名	NPO法人四国中央市公共施設管理運営センター
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
	1年目

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
①サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し計画的に研修等を実施している。	C	C
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	B	B
		外部委託業者に対して協定書等を遵守させている。	B	B
	法令順守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じている。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B	B
《①の総括》		B	B	
指定管理者の自己評価	協定書や業務仕様書に基づき、概ね適切に業務が履行できた。特に令和6年度は、四国中央市発足20周年及び開館5周年受託事業を含め、記念事業として例年になく様々な事業を実施し、利用者数が過去最高となり、参加者からも高評価を得るなど、大きな成果のあった年であると考えている。職員については、市からの職員を含め8名体制で管理運営を行った。また避難訓練や防災訓練を全員参加で定期的実施した。今後は、職員のスキルアップに繋がるような研修を取り入れていきたい。			
施設所管課の評価	法令を遵守し、協定書、業務仕様書及び年度事業計画に基づき適正に業務を遂行していた。特に令和6年度は、市発足20周年＆開館5周年を冠とした事業を数多く展開し業務量が多くなる中、緊急時における迅速な対応や、市への報告が適正に行われ連携が図れていた点は評価できる。 職員のスキルアップが市民サービスの向上に繋がるため、法人での研鑽に努めていきたい。			

事業評価表

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B
		施設の目的に添った自主事業を実施している。	B	A
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	地域住民等との連携	地域や地域住民との連携を深め、協働による事業展開がされている	C	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情対応等	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B
	管理目標	設定目標に対する結果は妥当である。	B	B
		設定目標に対する取組は適切である。	B	B
《②の総括》		B	B	
指定管理者の自己評価	<p>感染症が沈静化し通常開館となったことや、記念事業を実施したことなどにより、利用者数が初めて10万人を突破し、開館以降最高の111,465人の利用があった。事業や利用者の増加に伴い、事業実施に向けての取り組みや、施設予約や日々の諸室点検、修繕など施設管理の業務もれぞれ増加したが、1名の増員があったことや、普段から丁寧な接遇を心がけていたことなどから、全体を通して概ね適切に業務を遂行することができた。ただ、一部苦情等もあったことから、研修などを行い改善を図っていきたい。また、自主事業や共催事業を適切に開催することができた。事業ごとに実施しているアンケート調査でも、高い評価を得ることができた。令和6年度は特に市外からの来館者が多く、これからも利用者数の増加や施設の更なる充実を図るため、これまで以上にホームページやSNS等の広報活動を積極的に行いたいと考えている。</p>			
施設所管課の評価	<p>令和6年度は、市発足20周年の記念事業に賛同し、色々なジャンルのイベントを数多く実施した結果、過去最高の利用者数を記録するなど大いに盛り上げていただいた。市内外の皆さまにしこちゅホールの認知が広がったのではないかと思います。施設を訪れる方々からは非常に高い評価を得られることが出来ており、引き続きホールの情報発信や、魅力的なイベントの実施に努めていきたい。</p>			

事業評価表

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	A
	《③の総括》		B	B
	指定管理者の自己評価	自主事業においては「芸術文化振興基金」の補助を受けたことで経費縮減を図ることができたが、その一方で市主催事業や記念事業に伴い無料事業が多かったことから、事業収入及び使用料収入が減収となったが、経費削減に努めたことにより黒字化を図ることができた。予算執行においては、適切に経理事務を行うことができた。		
	施設所管課の評価	市主催の記念事業実施の影響を受けて施設使用料収入が減収となったが、法人の経営努力により黒字化経営を図れたことは評価できる。 また、市発足20周年の受託事業においても、適正な公金の取扱いを行い、最大限の効果をj得ることができたのではないかと思う。 引き続き、適正な法人経営に努めていただきたい。		
総合評価	①②③を合わせた総合評価	B	B	
所見 (成果・課題等)	<p>【自己評価】 令和6年度は、記念事業等の実施により利用者が大幅に増加したが、概ね適切に管理運営業務を行うことができた。市からの職員の配置により、事業の増加やアウトリーチ事業(おでかけしこちゅ〜事業)にも対応することができた。次年度も職員8名体制を維持していきたいと考えている。また令和6年度は記念事業等を実施し利用者が増加したことから、次年度事業等を縮小することは適切ではないと思われるため、事業費を維持しつつ事業の質や量の低下をまねかないように工夫して取り組んでいきたい。 法人の組織体制においては、今年度若干の世代交代を図ることができたが、次年度においても更に世代交代に取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>【所管評価】 令和6年度は、指定管理第2期の1年目として、また市発足20周年&開館5周年の記念事業の開催年度として、適正な会館運営に努め数多くのイベントを展開してきた。結果、過去最高の利用者数を記録し、市内外の方が多く来館し、文化交流の拠点施設としての役割を果たすことができたと思う。 アウトリーチ事業にも取組み、複数年かけた計画を立案するなど、数年先を見据えた取組みも行っており、引き続き魅力的なイベントの開催に取り組んでもらいたい。</p>			

事業評価表

事業評価表【補足資料】

1.利用状況

項目	6年度計画A	6年度実績B	対比B-A	前年実績C	対比B-C	備考
開館日数	309	309	0	309	0	
施設利用者数	120,000	111,465	-8,535	98,679	12,786	
施設稼働率	100%	99.4%	-0.6	97.4%	2.0	

2.管理目標

活動指標	6年度		7年度		8年度		9年度		10年度		備考
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
20周年記念事業開催件数	15	19	-	-	-	-	-	-	-	-	
自主事業開催件数	20	20	-	-	-	-	-	-	-	-	

成果指標	6年度		7年度		8年度		9年度		10年度		備考
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
施設利用者数	120,000	111,465	-	-	-	-	-	-	-	-	
施設利用者の満足度	90%	100%	-	-	-	-	-	-	-	-	

3.収支状況

区分	6年度決算	7年度決算	8年度決算	9年度決算	10年度決算	備考
収入計	177,638,195	0	0	0	0	
指定管理料	124,913,000					
利用料収入	12,144,440					
自主事業収入	11,441,587					
その他	29,139,168					
支出計	174,098,131	0	0	0	0	
指定事業費	145,142,176	0	0	0	0	
人件費	23,993,214					
再委託料	63,000,019					
その他経費	58,148,943					
自主事業費等	28,955,955					
事業収支	3,540,064	0	0	0	0	
利用料金比率	6.8%					
人件費率	13.8%					
再委託費比率	36.2%					

※令和6年度 四国中央市発足20周年受託事業費を含む

<評価基準>

区分	項目評価	基準
評価基準	A（優良）	事業計画を上回っている 期待する水準を上回っている 達成度イメージ：110%以上
	B（良好）	ほぼ事業計画どおりである ほぼ期待する水準どおりである 達成度イメージ：90%以上～110%未満
	C （一部良好でない）	一部を除き、事業計画どおりである 一部を除き、期待する水準どおりである 達成度イメージ：70%以上～90%未満
	D（良好でない）	事業計画を大幅に下回っている 期待する水準に達していない 達成度イメージ：70%未満
総括	A（優良）	評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である
	B（良好）	評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である
	C （一部良好でない）	評価基準がすべてC以上である
	D（良好でない）	評価基準にDが含まれている
総合評価	A（優良）	評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である
	B（良好）	評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である
	C （一部良好でない）	評価基準がすべてC以上である
	D（良好でない）	評価基準にDが含まれている